

第9回日本社会人選手権水泳競技大会

ADカードについて

■アクセスコントロールについて

本大会ではADカードによるアクセスコントロールを実施します。館内にいる時はADカードを常時首からさげ、選手席や競技エリア※に出入りする際は係員に提示してください。

※入場・観覧は無料です。選手席・競技エリアに入らない場合ADカードは必要ありません。

■ADカードの申請について

ADカードは、選手・付添の2種類です。

①選手（無料）

③付添（無料／有料1枚につき3,000円）

参加選手数に応じて、右表の通り無料付添ADカード（付添票）を申請することができます。無料の上限を超える場合は有料で追加の付添票を申請することができます。有料付添票の枚数に制限はありません。

選手数	無料付添枚数
1～5名	1枚
6～10名	2枚
11～15名	3枚
16～20名	4枚
以後同様に、5名につき1枚	

■写真について

選手・付添ともに写真付きADカードとなります。各加盟団体が定める期限までに WebSWMSYS から写真を登録してください。エントリーや写真登録が無い場合はADカードを発行できません。

①選手

本大会に WebSWMSYS からエントリーする際にADカード用写真を登録してください。

②付添

ADカード写真登録用の大会「(★○○○)【付添者ADカード写真登録用】第9回日本社会人選手権水泳競技大会」を使用します。

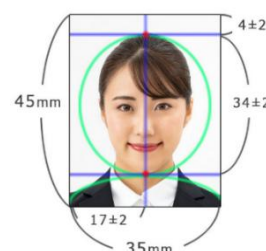
(1) 参加団体の付添者をエントリー用登録します。競技者番号を持っている場合は引き継いでください。（既に当該団体の正規登録またはエントリー用登録されている場合は不要です）

(2) 25m自由形にエントリーした上でADカード用写真を登録してください。

全員の写真登録が完了したら必ず集計およびエントリー確定を行ってください。未確定の場合は写真の提出が無いものとして取り扱います。

■顔写真の注意点

- ☐ 写真の縦横比率は4.5:3.5を目安とすること
- ☐ 写真はカラーであること
- ☐ 服装はチームジャージであること ※服を着ていない写真は不可
- ☐ 写真の背景は白もしくは無地の薄い青であること



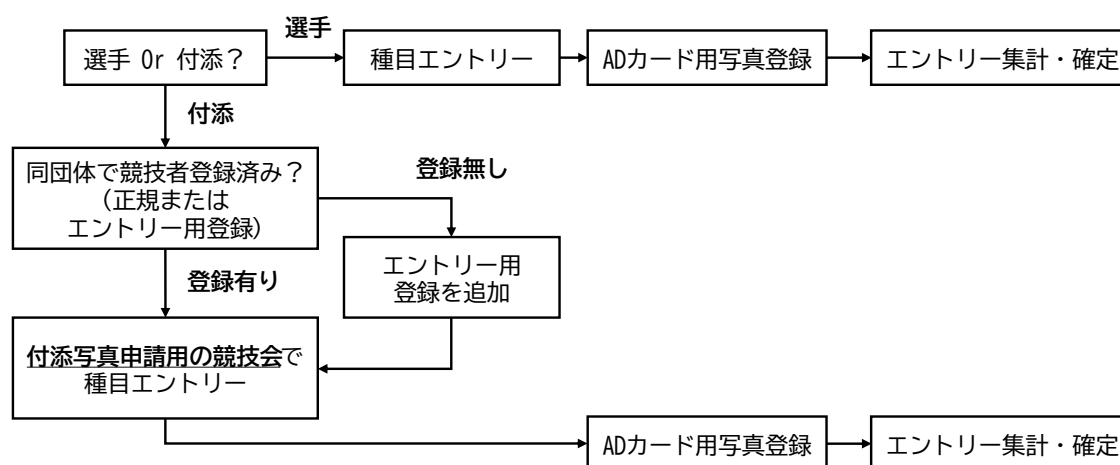
※参考イメージ

- ☐ 宗教上、医療上の理由を除き、顔を隠すような物（帽子・スカーフ・ヘアバンド等）や、マスク、サングラスは身に付けないこと
 - ☐ 顔を正面に向け、口を閉じ、目はきちんと開いていること
 - ☐ 画像データは JPEG 形式かつ 300KB 以上のサイズであること
- ※上記内容に満たない場合、再度提出していただくことがあります

■以下のような不備に注意すること

- × 氏名と写真が一致していない（例、選手の名前で付添者の写真を登録している）
- × 写真の解像度が粗く、ピンボケしている
- × スマートフォンやPCの液晶画面をカメラで撮影している
- × 背景に別の物が写りこんでいる（白色・無地の背景ではない）

■ADカード用写真登録の流れ



例：400m個人メドレーに出場する（選手）Aと（付添）Bの場合

- ・ ”第9回日本社会人選手権水泳競技大会”
- ⇒ Aを400m個人メドレーにエントリー。Aの写真を登録してエントリー集計・確定。
- ・ ”【付添者ADカード写真登録用】第9回日本社会人選手権水泳競技大会”
- ⇒ Bを25m自由形にエントリー。Bの写真を登録してエントリー集計・確定。

エントリー締切後に確認できるよう、確定後に申込情報（PDF）をダウンロードしてください。

■注意点

- ・ ADカードは記名式となります。付添者は付添者の名前で申請してください。選手の名前で写真を登録された場合、付添者の氏名が不明のためADカードを発行できません。
- ・ 選手は種目エントリー時に写真を登録します。付添としての写真提出は必要ありません。同一人物が選手と付添の両方で重複して写真を提出している場合は、付添の申請（写真登録）は取消となります。
- ・ 無料付添票の上限と有料付添票の申請枚数の合計と、写真を提出された付添者の人数に差があ

る場合は、写真を提出された人数を優先します。申込金が不足している場合は追加で支払いが必要です。有料付添票の払い戻しは行いません。

例（1）：

無料上限 1 枚、有料 2 枚で申込をしたが、付添の写真が 4 名の場合 → 有料 3 枚の扱いになり、申込金が不足している場合は追加で支払いが必要です。

例（2）：

無料上限 1 枚、有料 1 枚で申込をしたが、付添の写真が 1 名の場合 → 付添票は写真の提出があった 1 名のみ発行されます。有料の払い戻しは行いません。

以上